

次世代生産工場「ソリューションファクトリー（仮称）」の新設を決定

埼玉県の入間事業所内に、IoTやAI（人工知能）を活用した次世代生産工場の新設を決定しました。福利厚生エリアの再整備や緑化事業も予定しており、地域社会により深く根ざした企業になるように努めていきます。

新設の狙い

最新の自動化技術・設備、そして当社が持つ技術・製品を結集。Σ-7シリーズの増産対応と中期経営計画「Dash 25」で掲げている安川版インダストリ4.0の実証を「生産面」と「製品面」という2つの側面から進めていきます。

生産面

・自社の多様なFA機器をインターネットに接続して制御するIoT技術やAI（人工知能）などの技術を活用した部品調達の自動化や生産ラインの一時的なトラブルからの自動復旧などを実現

製品面

・自動化技術を含む生産モデル自体をシステム製品としてお客様に提供

工場の概要

- **名称**：ソリューションファクトリー（仮称）
- **所在地**：埼玉県入間市上藤沢480番地
- **敷地面積**：延床面積:6,400m² (3,200m²×2階建)
- **施設概要**：Σ-7シリーズ（サーボモータ・サーボアンプ）の製造安川版インダストリ4.0のコンセプトの実証
- **工場稼働予定**：2018年度



欧州・スロベニアにおける産業用ロボットの子会社を設立

産業用ロボットの新たな生産拠点として、福岡県北九州市と中間市、中国江蘇省の生産子会社に加え、スロベニアにロボット生産子会社を設立しました。欧州のロボット需要拡大に対応します。

設立の狙い

今後のロボット市場は、その適用範囲を拡大させ、さらに大きく成長する見込みです。この市場成長に伴う需要の増加に対応できる生産能力を拡大させると同時に、お客様への、よりスピーディーな製品供給を目的とし、顧客ニーズの高い欧州地域に新たな生産拠点を設立します。

新生産拠点の概要

- **名称**：YASKAWA Europe Robotics d.o.o.
- **所在地**：スロベニア
- **資本金**：21,000,000 ユーロ（約24 億円）
- **事業内容**：産業用ロボット（制御装置含む）の開発、製造
- **従業員数**：約170名（2020年予定）
- **工場稼働予定**：2018年度

安川電機(瀋陽)有限公司に第3工場の増設を決定

急速に拡大する中国市場でのサーボモータ、サーボアンプの需要に応えるため、現地生産子会社である安川電機(瀋陽)有限公司において、新たに第3工場を増設します。

第3工場増設の目的

中国では産業構造の高度化および労働人口の減少、人件費の高騰等により、自動化・ロボット化への投資が加速しています。また、工作機械や製造装置、産業用ロボットなどの需要が拡大する中で、現地での製品開発が進んでいます。

このような中、自動化機器の主要コンポーネントであるサーボモータ・サーボアンプは、今後も更なる需要拡大が見込まれていることから、新たに第3工場の増設を決定いたしました。この工場では「見える化」をコンセプトとした最新の生産管理システムを導入し、生産状況のリアルタイム管理を実現します。また、埼玉県入間市のマザー工場と連携したグローバルな生産情報を共有できる体制を確立していきます。

瀋陽工場の施設概要

- 所在地：中華人民共和国遼寧省
- 生産機種：サーボモータ、サーボアンプ等
- 第3工場概要：■ 延床面積 [14,000㎡]
■ 工場稼働予定 [2018年度]



第3工場完成予想図

新規事業創出とコア事業領域拡大を加速させるベンチャー投資活動を本格化

長期経営計画「2025年ビジョン」達成に向け、新規事業創出およびコア事業領域拡大の加速を目的としたベンチャー投資活動を本格化。投資規模は2016年度～2018年度の3年間で20億円を予定しています。

背景と目的

近年ではオープンイノベーション*の社会的な浸透を背景に、短期間で実用化が期待できる先端技術やアプリケーションを保有する国内外のベンチャー企業が数多く現れています。高い技術力に加え当社より速い開発力をもつ、これらのベンチャー企業に本格的な資本投資をしていくことで、「2025年ビジョン」で掲げる「コア技術の進化とオープンイノベーションの融合」の実現をスピードアップさせ、社会に新たな価値を提供します。

ベンチャー投資活動の概要

IoTやAI分野をはじめ「2025年ビジョン」の重点分野である「メカトロニクス」「クリーンパワー」「ヒューマートロニクス」における事業シナジーが見込める国内外のベンチャー企業を投資対象とし、スピーディな投資判断を行う体制を構築しました。

具体的には、FAネットワーク、次世代ロボットアプリケーション、蓄電技術、無線/センサー技術や次世代半導体技術等に対する機動的な投資を行い、要素技術開発や品質向上、量産技術のスピーディな実現に向け連携するほか、必要に応じ販売面・人材面でのサポートも行いながら、当社の資源を最大限活用します。

*企業の内部と外部のアイデアを組み合わせ、革新的で新しい価値を作り出していく考え方。